

●灘五郷清酒釀造高(明治三十五年度) 芳香天下に比なき灘酒の造石高を御紹介せんに、是れは明治三十六年四月調査に係るものなるが、清酒査定石數三十八萬二千二百九十四石、課税石數三十七萬三千六百六十八石にして、總藏數三百八十八、總人員百四十人、平均分類一人に就き二千六百八十五石の由、

新刊紹介

●美文國語作文 一冊 文學博士 小杉温 邸 監修
模範博士のはしがき先づ麗はしく、さし繪色刷の文房貝最も美しいが上に、著者の緒言古今文章の模範に付きて書目と著者とを論じられたるなど極めて有益なり、さて、本文は四季、天象、地理、人事雜等の諸部門に別ち、納むる所の文には百數十、悉く古今名家の筆にあらざるなし。其上 各部に 悉く有益なる類語を古今の名著より引用列舉したるなど用極めて周到。眞に作文の案たるに適せり。近世の學生の文を作るに、多くは 普通の女學雜誌などに於ては 同輩の懸賞文などを真似るもの多し、かくては到底

古人に及ばん程の文を得んこと難きは明なり。吾等は、切に此の如き良書を机上の友とせんことを勸むるものなり(定價五十錢 發行所、東京神田區鍛冶町四、誠之堂)

●七夜ものがたり

●百姓と惡魔

●五斗兵衛

有少年世界文學の十、十一、十二篇として出でたり。表紙の美麗さし繪の鮮明雅致、讀んで 少年諸君に面白いことは、前々篇より既に分つて居るなり(定價一冊十二錢 發行所東京神田區裏神保町九 富山房)

●中學新遊戯 一冊 高山源助 著

中學校の遊戯を記載したるもの、未だ一も見ることなきに際して本書は出でたり。記載せる中従前行はれたるものあれども、多くは新らき種類を集められたり。數凡そ五十有餘、遊戯法の研究盛なる今日、歡迎を受くること間違なし(定價二十八錢 發行所 同所)

●下道の枝析 一冊 赤澤 晃 著

吉備公の墳墓の地を改修せんとの目的にて吉備公保廟會なるものを起し、此目的の爲めに又本書を出版せられたるか如し。吉備公の傳、吉備の景勝等を面白く記載せられたり(定價一冊十五錢 發行所 同所)

●人道教育論 一冊 (ラルフ、ワルド、トライン原著) 木下 祥 眞譯

翻刻自由の銘打つたる所、先づ記者の心のゆかしさを知るべし。最も平易に人間教育の道を記載したり、是非おつ母さん方の一讀再讀を堪はしたきものなり。小さき子供を教へて、動物や下級のものに對して殘酷ならぬやさしき心情を養はんとする人には特に本書を推薦す (發行所 東京神田區南甲賀町八、内外出版協會)

會 報

第廿九常會

明治三十六年六月十三日午後一時三十分より番町小學校附屬幼稚園に於て開會、小泉又一君の演説 (歐米にて觀察したる幼稚園) 并に會員相互の隨意談話ありて午後五時閉會したり、出席者は客員尾田信忠君會員四十餘名なり。

入 會

神奈川縣横須賀町沙留三一 全 横須賀小學校

右紹介松岡幸

福本ゆき 橋本たへ

深川區佐賀町一ノ四三

右紹介東基吉

蕪町區山元町三ノ四

四谷北伊賀町廿七

蕪町區三番町二五

全 三番町一二竹内方

四谷區豐筈町三九岩田清三郎方

埼玉縣北足立郡大宮町一三一

島根縣瀧田町新町

遠江國濱松高等女學校

千葉縣千葉町教員養成所

神戸市立幼稚園

蕪町區富士見町二ノ一八

全 一ノ三三

本郷區春木町三丁目森方

四谷區愛住町七六

右紹介大橋いぬ

右紹介波多野とく

右紹介永地待枝

右紹介中村五六

右紹介大島小春

右紹介榎本つね

右紹介雨森劔子

右紹介下田龜

西村もと

奥野まさ

鈴木しげ

井上たま

川北千代

落合くめ

小林きせ

右田るい

林 節

脇谷しげ

平河長子

清野くに

尾立とみ

柳原英子

小貝貞子